

学校教育アンケートについて

河内長野市立小山田小学校

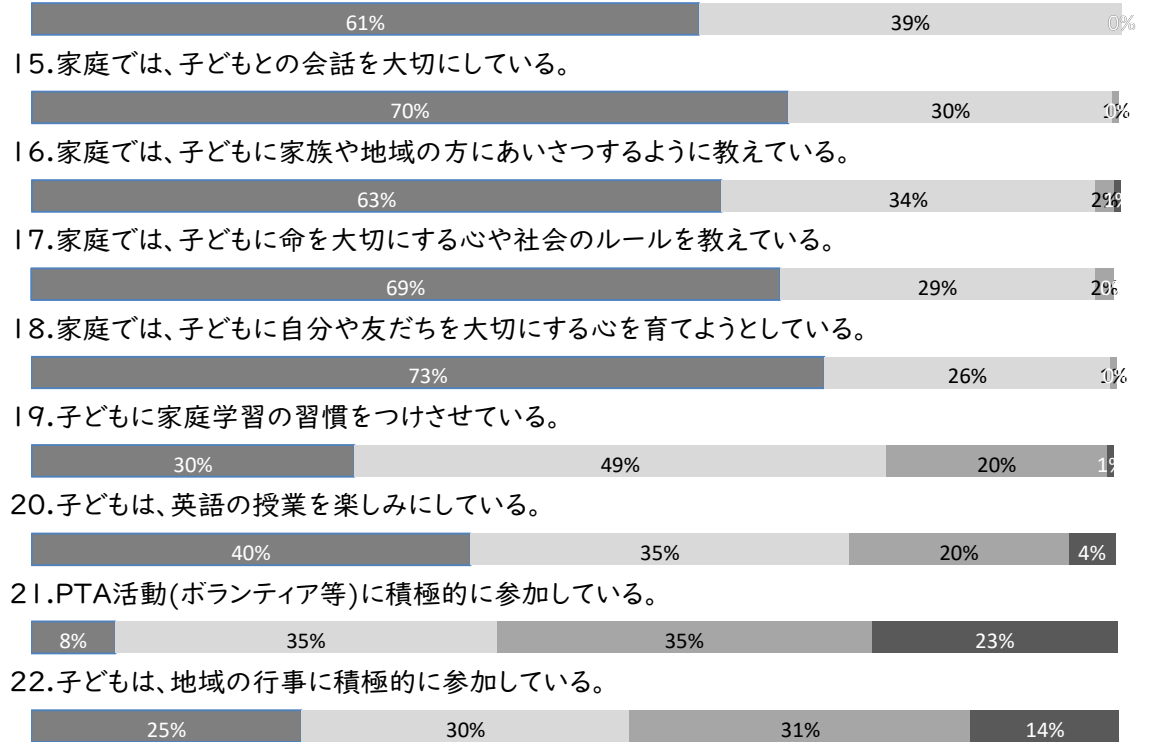
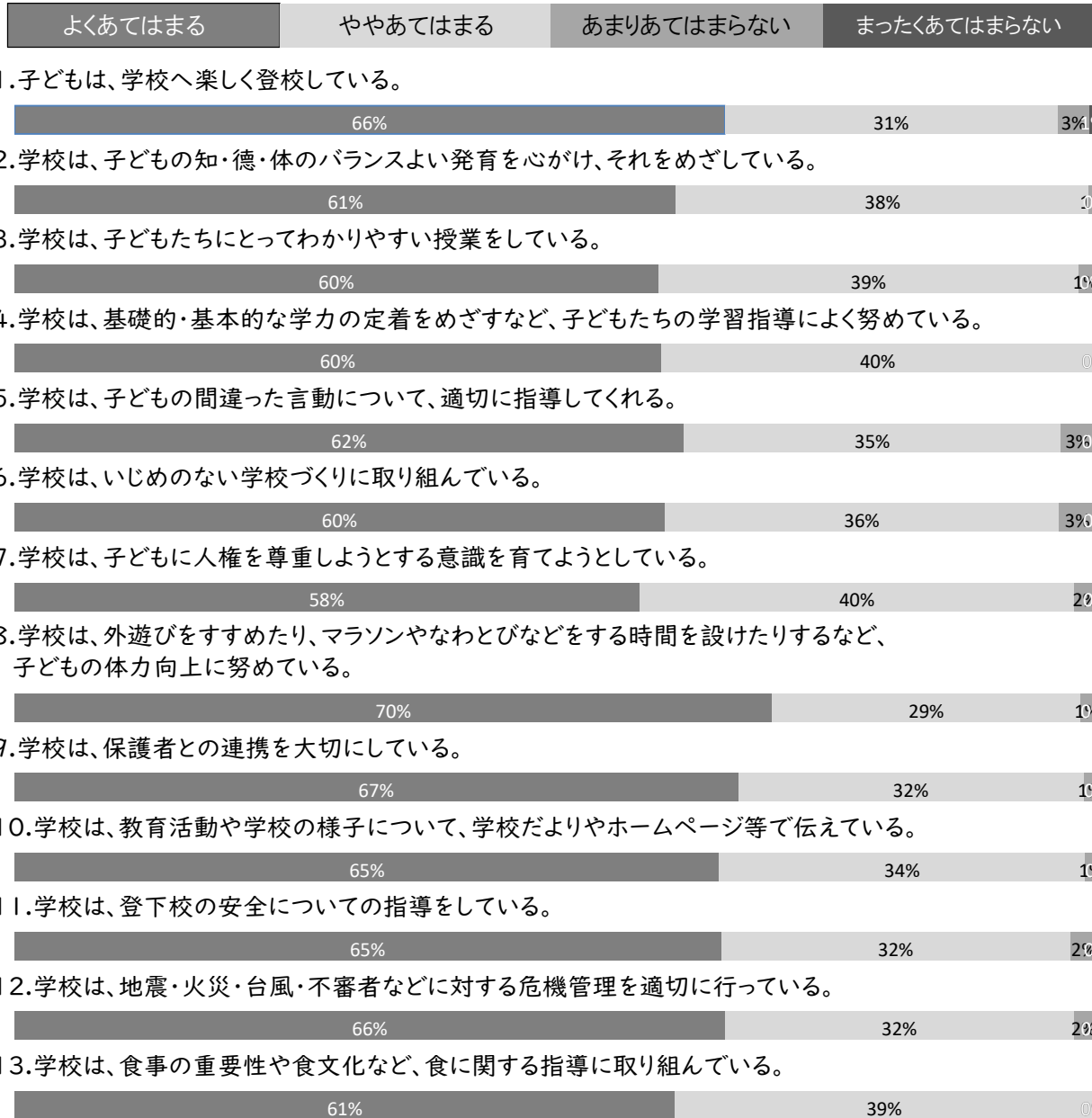
校長 森 知佐登

この度は、学校教育アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。以下のアンケート結果と分析をもとに、本校教育目標「豊かな心を持ち、自ら学ぶ子どもの育成」に向け、より一層教育活動に邁進いたします。今後とも、みなさまのご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

保護者アンケートより

(アンケート回収 172家庭数)

《グラフ中の凡例(グラフ左側から)》



【アンケートの記述欄について】代表的なものをまとめています。

○小山田小学校区は良い環境で、子どもは伸び伸びと元気に楽しく通学してくれて、これは親として1番の喜びです。

○小学生の頃は、本当に学校という世界が大きい存在であり、様々なことを学ばせていただいているなあと感じます。先生方がいつも笑顔でいてくださる印象がとても強く、子どももしっかり向き合ってくさっていると感じています。

○毎日楽しく学校に通っていて安心しています。学校・家庭みんなで子どもたちを見守っていただけると思っています。

○先生方が温かく見守ってくださり、子どもも安心して学校生活を送っています。学習面だけでなく、生活面や友だち関係についても気にかけていただき感謝しています。また登下校時の見守りや安全指導にも日々ご配慮いただきありがとうございます。

○些細なことでも、気になることは連絡をまめにくださるので安心感があります。連絡帳にもコメントや返事を丁寧にくくださるのでありがたいです。

【ご意見など】

懇談の案内はスマホで出来てとても助かりました。tetoruでもQRコードを送っていただけるとさらに助かります。

性教育に積極的でないと感じています。学校を通じて家庭でもできるように投げかけてほしいです。以前、PTAのLGBTQのお話があって、すごくよかったのですが、保護者の参加が少なかったので、学校と家庭と一緒に子育てしているという意識が広がるといいなと感じます。

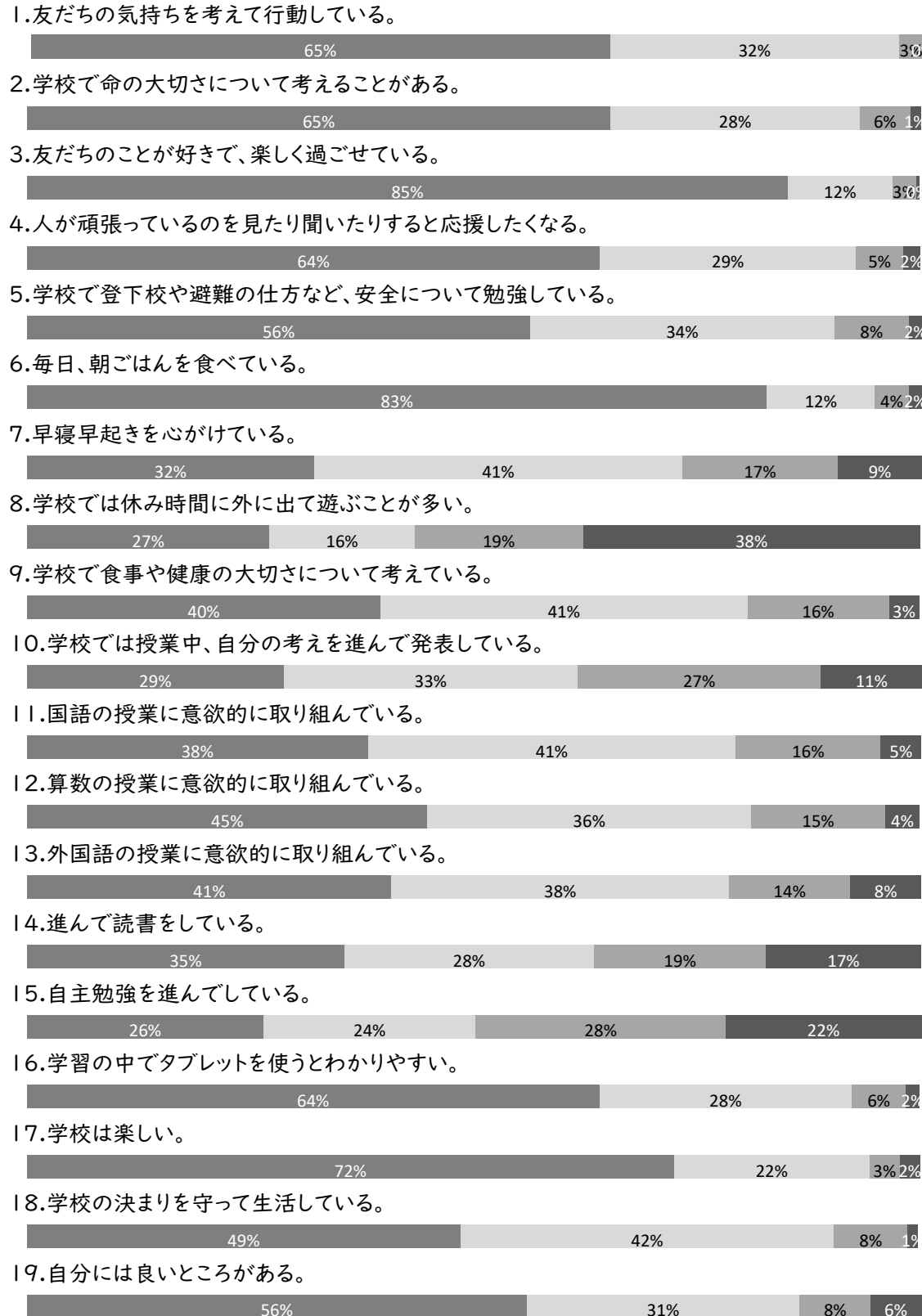
たまにいいので登校班のチェックをしていただけたらうれしいです。

その他、給食センターなど市の機関に関係するご意見もいただいております。本校の教育活動、子どもたちへの温かな思いに、心より感謝を申し上げますとともに、いただいたご意見に関しましては、各会議の議題として話し合い、今後の学校運営に生かしてまいります。

児童アンケートより

《グラフ中の凡例(グラフ左側から)》

よくあてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない



20.先生はあなたの良いところを認めてくれている。



21.困った時には先生や友だちに相談できる。



22.地域の方たちが小山田小学校のためにお手伝いをして下さっていることを知っている。



結果の概要と考察

全22項目中18項目で90%を超える肯定的な回答(「よくあてはまる」「あてはまる」の合計)をいただきました。本校教育活動へのご理解と、ご家庭でのご協力に心より感謝申し上げます。

【肯定的な回答の多かった項目と評価:保護者アンケートより】

○学校生活の項目においては、「1.子どもは、学校へ楽しく登校している」では97%、「3.学校は、子どもたちにとってわかりやすい授業をしている」では99%の肯定的な回答がありました。子どもたちにとって学校が楽しく安心できる居場所であるよう、学校行事等の工夫改善や、「自分の考えをもち、表現できる子どもの育成をめざした授業づくり」の研究推進にご理解とご支持をいただけていることに感謝申し上げます。

○家庭生活の項目では、「15.子どもとの会話を大切にしている」が100%、「16.あいさつをするように教えている」では97%の肯定的な回答があり、ご家庭での温かいかわいが、子どもたちの心身の安定や基本的な生活習慣の定着にしっかりとつながっていると感じています。

○「10.学校は、教育活動や学校の様子について、学校だよりやホームページ等で伝えている」についても99%の肯定的な回答がありました。今年度より、学校ホームページにおいても、子どもたちの学習活動や様々な取り組みの様子の写真を定期的に発信しています。今後もより一層、子どもたちの学びの姿が伝わる学校だより・学校ホームページづくりをめざしていきます。

【肯定的な回答の多かった項目と評価:児童アンケートより】

○「3.友だちのことが好きで楽しく過ごせている」は97%、「17.学校は楽しい」は94%と、ともに肯定的な回答が9割を超えました。友だちと仲良く楽しく学校生活を送ることは、教育活動の基盤となるものです。教職員一同、活動充実の力としつつ、「あまりあてはまらない」と回答した子どもたちがいることに心を向け、一人ひとりが大切にされる仲間づくりや人権教育を進めてまいります。

○「22.地域の方たちが本校のためにお手伝いをして下さっていることを知っている」では、肯定的な回答が98%となりました。1年生「芋掘り体験」や5年生「福祉委員の方への質問会」などに加え、「縄跳びチャレンジ」や「朝の読み聞かせ」など新たな学校支援ボランティア活動を通じて、子どもたちが地域の方とのふれあいを感じる事ができた結果だと考えています。

【課題と今後の取り組み:保護者・児童アンケートより】

○「8.学校では休み時間に外に出て遊ぶことが多い」は肯定的な回答が4割、「10.学校では授業中、自分の考えを進んで発表している」「14.進んで読書をしている」では6割程度となっています。子どもたちがのびのびと身体を動かして遊ぶことと、自信を持って主体的に学ぶことには関連があるとされています。読書の課題と合わせ、取り組みの工夫と改善を重ねてまいります。

○保護者アンケート「19.子どもに家庭学習の習慣をつけさせている」では、肯定的な回答がほぼ8割と高いものの、児童アンケート「15.自主勉強を進んでしている」では、肯定的な回答が5割となりました。2月中旬、新たに工夫した自主勉強コンクールの取り組みを行い、子どもたちに再度アンケートを取ったところ、自主勉強に肯定的な回答が77%となりました。打てば響くような子どもたちの学習意欲が表れていて、学び合うことの大切さを実感させられる取り組みとなりました。ご家庭でも、アドバイスや励ましのお声かけなどご協力をいただき、ありがとうございました。今後も、家庭と学校がともに子どもたちの良さを伸ばしていけるよう、企画推進してまいります。